

平成25年 新たに発生が確認された病害虫(*)、今後の発生に注意を要する病害虫等

農作物名	病害虫名	発生地域	発生確認年月	発生・被害の概要等
トマト	葉かび病 (アゾキシストロ ビン剤耐性*)	東青地域、 西北地域、 中南地域、 下北地域	平成24年10月 ～平成25年10月	県内32地点41施設から分離された246菌株の葉かび病菌についてアゾキシストロビン感受性検定を行った結果、123菌株が耐性菌と判定された。 (農林総合研究所)
トマト	キュウリモザイク ウイルス：CMV (発生拡大)	平川市	平成25年7月	トマトの葉、茎、果実にえそ症状が発生した。イムノストリップで検定したところ、病原はCMVと診断された。 (農林総合研究所)
ダイズ	ウコンノメイガ (多発害虫)	中南地域、 上北地域	平成25年8～9月	8月上旬頃から葉巻き症状が見られ、ほ場全体が枯れ上がるほどの被害も確認された。 (防除所・地域農業普及振興室)
イチゴ	黒斑病 (特異発生)	田舎館村	平成25年9月	イチゴ(品種：すずあかね)の葉に褐色の斑点が発生した。病斑部からは <i>Alternaria</i> 属菌が分離され、黒斑病と診断された。 (農林総合研究所)
ニンジン	サビヒョウタンゾ ウムシ*	上北地域	平成25年2月 (情報提供)	平成24年7月、ゴボウ後作に栽培したニンジン根にゾウムシ類幼虫による食害痕が認められ、本虫はサビヒョウタンゾウムシと同定された。ニンジン本圃での被害は初確認である。 (野菜研究所・地域農業普及振興室)